

保護者の皆様へ

学内発第132号
令和7年3月4日
大阪府立八尾支援学校
校長 古川 綾子
准校長 山崎 夏生

令和6年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★ 分析基準 ★★★

* 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
* 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1)提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	199/377家庭	53%	33%	355/537	66%
教職員	156/160人	98%	94%		
生徒（高等部）	61/66人	92%	66%		

*昨年度との比較

●保護者の提出率は、20%上昇した。昨年度に続き、今年度は2回目のGoogleフォームを活用して実施したことが、数値の上昇につながったと考えられる。また、今年度は授業参観アンケートもGoogleフォームを活用した。Googleフォームを使用する機会を増やしたため保護者がGoogleフォームに慣れ、回答しやすくなったと考えられる。また、マチコミにURLやQRを添付して配信を行ったり、即座に回答できるような方法を行ったり、回答の期限日が近づくと再度依頼のマチコミを配信したりして周知を行った。

●教職員の提出率は、4%上昇した。昨年からGoogleフォームを活用して実施しているが、今年度も「Googleアカウントがわからない」「ログインができない」などの声が引き続き一部声があったが、概ねの教員が回答することができた。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。

●生徒の提出率は、26%上昇した。今年度から、授業の中で教員と一緒にGoogleフォームを活用し回答する方法に変えて実施した。そのため、長欠の生徒等にはアンケートを実施することができなかった。今後、どのように対応していくか検討が必要である。

(2) 集計結果・分析 (生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください。

■ 肯定的意見90%以上 ▲ 肯定的意見5%以上の上昇
▽ 肯定的意見5%以上の下降

	R6肯定	R5肯定	R6否定	R5否定
1 学校へ行くのが楽しいですか。	77	75	7	5
2 授業はわかりやすいですか。	77 ▲	70	3	2
3 学校では社会のルールについて学ぶことができますか。	74	72	5	0
4 先生はがんばったことをほめてくれますか。	69 ▽	86	7	5
5 先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	70 ▽	88	3	0
6 もし、いじめでこまったら相談できる先生がいますか。	72 ▲	47	2	2
7 卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。	72	70	3	0
8 校外学習、宿泊学習、修学旅行、運動会、作品展は楽しいですか。	85 ▲	77	3	0
9 給食はおいしいですか。	89 ▲	81	2	2
10 学校でiPad (アイパッド) を使うことができますか。	85 ▲	67	5	9

【考察】

- 10項目中、達成基準に達したもの(70%以上)は9項目あった。
- 昨年より5%以上数値が下降した項目は、4番『先生はがんばったことをほめてくれますか。』、5番『先生はこまっているとき、たすけてくれますか。』の2項目あった。
- 基準に達しなかったものとしては、1項目のみとなった。
・ 4番『先生はがんばったことをほめてくれますか。』は肯定的意見が69%に下降し、否定的意見が7%あった。生徒たちの頑張りを見逃さずに声をかけ、自己肯定が上昇できるような指導に努めていきたい。
- いじめに関しては、今年度72%と肯定的意見が上昇したが、否定的意見が2%となっているため、今後も早期発見・早期対策に努めていきたい。
- 10番『学校でiPad (アイパッド) を使うことができますか。』は、昨年より18%上昇した。教職員のICTに関するスキルの向上やICTを活用するためのTVや環境設備等が整い、より効果的な活用を実施できたためと考えられる。

(2) 集計結果・分析 (保護者)

			R6 肯定 (全)	R5 肯定 (全)	R6肯定			R6 否定 (全)	R5 否定 (全)	R6否定			
					小	中	高			小	中	高	
児童・生徒の様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	1	85	89	84	87	85	11	7	12	11	6
	2	授業を楽しみにしている。	2	81	84	81	82	79	12	9	12	13	9
	3	給食を楽しみにしている。	3	85 ▽	96	81	87	94	11	3	13	12	3
	4	学校行事(運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など)を楽しみにしている。	4	85	85	78	88	97	9	10	11	10	3
教育活動	5	『個別的教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	5	94 ■	98	93	95	94	5	1	7	4	3
	6	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	6	90 ■	93	92	92	82	8	3	6	7	15
	7	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	7	91 ■	91	93	89	94	6	2	6	7	0
	8	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	8	96 ■	98	96	96	97	2	0	0	2	3
	9	避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	9	92 ■▲	86	93	96	82	1	2	1	1	0
	10	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	10	85 ▲	75	87	84	85	5	8	5	5	3
	11	いじめなどについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応してくれると思う。	11	85 ▲	74	86	84	85	4	6	2	5	3
	12	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育(キャリア教育)を行っている。	12	89	88	84	90	97	5	6	5	5	3
	13	近隣の小学校・中学校との交流(居住地校交流含む)、高等学校との交流の機会を設けている。	13	75	74	81	77	58	13	11	11	12	18
保護者との連携	14	ホームページやマチコメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	14	95 ■	97	90	98	100	4	3	7	2	0
	15	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	15	89	88	87	93	88	7	7	10	5	6
	16	学校では、PTA活動が活発に行われている。	16	80 ▽	88	80	78	85	11	2	12	13	3
	17	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	17	97 ■	99	96	98	100	3	1	4	2	0
教育環境その他	18	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	18	91 ■	93	90	90	97	5	3	6	6	0
	19	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	19	90 ■▲	84	92	90	85	4	7	2	2	12
	20	施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。	20	71	68	70	76	61	17	14	18	11	30
	21	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	21	84	84	86	89	70	3	1	2	2	3
実習	22	企業・福祉サービス事業所の情報を提供している。	22	91 ■	90			91	6	5			6
	23	企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	23	94 ■	90			94	3	5			3

【考察】

- 今年度23項目のすべての項目が達成基準に達した。(70%以上)
- 3番『給食を楽しみにしている。』では、昨年度より肯定的意見が下降した。今後も偏食・過敏のある児童生徒について、さらに工夫をして給食指導を行っていききたい。
- 昨年度、9番『避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。』は肯定的意見が下降したが、今年度92%と肯定的意見が上昇した。学校ブログ等で昨年度の課題を踏まえ、学校での防災教育・安全教育の取り組みを保護者にしっかり伝わるように情報発信を行ったためと考えられる。また、マチコミを使用した安否確認訓練を実施した。今後も保護者と連携を図り、防災教育に取り組んでいきたい。
- 13番「交流」に関する項目は75%と昨年度とさほど変わらない数値であった。近隣の学校等との交流を行っているが、活動内容や当日の内容が保護者に十分伝わっていないことが考えられる。また、生徒会の交流だけではなく、部や学年などにも交流の幅を広げられるように努めていきたい。今後も引き続き、居住地校交流や近隣の校園との交流が、本校の教育活動とより密接に結びつくようさらなる実践を進めていき、情報発信等も行っていききたい。
- 19番『校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。』が昨年度より90%と数値が上昇した。校内でのけがや病気に対しては、適切な救急処置 原因の把握など、迅速で丁寧な対応を今後も継続して行っていききたい。
- 20番『施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。』は71%と肯定的意見の中でも低い数値となっている。老朽化等により、整備・点検がされていても教育環境として課題が多くあると考えられる。月1回の点検等も引き続き行い、危険な箇所等の早期発見や修繕・情報共有等に努めていきたい。また、予算等の要望なども引き続き、学校として行っていく。

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R6 肯定 (全)	R5 肯定 (全)	R6肯定			R6 否定 (全)	R5 否定 (全)	R6否定		
					小	中	高			小	中	高
教育活動	1	個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	97 ■	96	98	98	100	1	1	2	2	0
	2	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	92 ■	91	90	95	100	6	7	10	5	0
	3	教科学習や生活指導における教材や教具は、視覚的にわかりやすくするなど、工夫・配慮している。	97 ■	95	98	98	100	1	4	2	2	0
	4	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	92 ■	89	97	93	88	6	7	3	7	13
	5	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	94 ■	95	95	97	92	3	4	2	3	8
	6	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	95 ■	93	95	98	100	1	5	3	0	0
	7	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応できている。	85	81	79	88	88	8	7	11	3	8
	8	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	90 ■	87	93	86	96	6	8	3	12	4
	9	学校は企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み、支援を適切に行っている。	88 ▲	80	85	90	96	4	3	5	3	4
	10	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	88	87	90	90	79	10	8	8	10	21
保護者との連携	11	ホームページやマチコミメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	96 ■	95	97	97	96	3	5	3	2	4
	12	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	95 ■	97	95	97	100	3	1	3	3	0
	13	学校では、PTA活動が活発に行われている。	82 ▽	91	85	79	83	8	4	3	14	8
	14	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	97 ■	96	98	100	100	1	1	2	0	0
組織マネジメント	15	校長は自らの教育理連や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	90 ■	88	93	93	75	7	7	7	5	17
	16	准校長は自らの教育理連や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	82 ▲	77	85	79	79	6	9	3	5	13
	17	学校運営に教職員の意見や会議の結果が反映されている。	68 ▽	73	79	59	58	25	18	16	34	38
	18	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	72 ▽	77	79	71	58	19	18	13	22	33
	19	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	79	81	79	76	92	17	15	18	22	8
	20	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	94 ■	90	90	97	100	3	5	7	2	0
	21	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	83 ▲	70	82	81	92	14	22	16	16	8
	22	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業準備の時間など、労働条件は改善している。	68 ▲	57	74	60	75	25	38	23	31	25
	23	個人情報の管理における校内システムは確立している。	89 ▲	83	85	93	96	7	10	13	2	4
24	学校予算は適正に編成・執行されている。	82 ▲	71	80	79	88	3	11	2	3	8	
地域連携	25	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制（非常勤講師の配置など）が整っている。	75	75	70	83	75	16	12	23	10	17
	26	地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	83	86	84	81	88	5	5	3	5	8
	27	夏季研修、来校相談など地域に開かれた研修、相談事業を行っている。	97 ■	95	98	97	100	1	0	0	2	0
教務	28	公文書や指導要録等の管理は十分に配置されている。	87	88	90	91	83	5	3	2	5	8
情報	29	ICT教育の推進に必要な機器（タブレット端末など）は揃っている。	78	77	84	69	88	20	20	15	31	13

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R6 肯定 (全)	R5 肯定 (全)	R6肯定			R6 否定 (全)	R5 否定 (全)	R6否定		
					小	中	高			小	中	高
情報	30	教育活動において、必要に応じてICT機器（タブレット端末など）を活用することがある。	95 ■▲	86	95	100	100	1	11	2	0	0
生活 安全	31	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	88	85	92	88	88	8	7	3	12	13
	32	児童・生徒会活動は活発である。	81 ▲	69	84	91	83	14	24	11	14	13
	33	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	90 ■▲	85	89	88	96	6	10	7	9	4
	34	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	91 ■	87	92	95	96	6	3	5	10	4
	35	保健室は健康に関する相談がしやすい。	91 ■	87	92	97	92	2	6	2	3	0
	36	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	97 ■	96	98	100	96	1	2	0	3	0
	37	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	97 ■	94	97	91	96	1	4	3	0	0
支 援 教 育	38	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・ホッと相談会及び勉強会など）を受け易い体制が整っている。	90 ■	87	95	83	88	3	5	2	5	4
	39	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができるように計画的に実施されている。	90 ■	86	97	84	83	9	7	3	14	17
	40	支援教育に関する専門性向上や教材づくりに役立つ関連書籍、問題集、支援グッズがそろっている。	88	83	93	78	92	8	11	7	12	8
支 援 / 進 路	41	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	79	75	84	71	88	15	17	15	19	13
進 路	42	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	83	85	87	79	88	9	7	8	14	4
企 画	43	施設・設備は安全面に十分配慮し、点検を行っている。	70	69	77	71	54	25	28	21	22	42
	44	運動会や作品展など、各教職員の役割分担と連携により円滑に行われている。	83	81	85	83	88	12	13	11	12	13
	45	P T A活動を理解し、協力している。	77	70	74	78	88	11	14	11	12	4

【考察】

●45項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は43項目あった。

●9番「学校は企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み、支援を適切に行っている。」、42番「進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。」の肯定的意見が5%以上上昇した。保護者・教員への施設等の見学会などを実施し、また研修や進路だより等の積極的な情報発信等の成果であるかと考えられる。

●15番～24番「組織マネジメント」10項目中、肯定的意見が5%以上上昇した項目が5項目あった。初任・経験の少ない教員への育成や労働条件や労働衛生環境等の項目は、引き続き継続し行っていきたい。また、今後も情報共有を大切にしながら、よりよい学校経営に努めていきたい。ストレスチェックの集団分析を活用して、現状分析や今後の改善にいかしていく。

●27番「夏季研修、来校相談など地域に開かれた研修、相談事業を行っている」は、地域の教員が本校での研修に多く参加されているため97%という高い数値になっている。また、リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制を整え、今後も地域のセンター校としての役割を担っていきたい。

●41番「キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している」の肯定的意見が4%上昇した。今年度、支援教育部中心にキャリア教育の研修やキャリアの観点を踏まえた略案の書き方などの研修を行った成果であると考えられる。

(4) 記述回答 まとめ

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

1 施設設備に関して

○プレハブ校舎・トイレの建て替えてほしい。

→PTAから府に建て替えの要望をしています。

○学校生活での出来事を連絡帳に書いてほしい。

→児童生徒の安全確保を最優先の末、できる限りその日の様子を伝えられるように努めています。その日の学校生活の様子で気になることがある場合は、ご家庭に電話連絡をさせていただいています。今後も引き続き電話連絡をさせていただきます。

2 教育活動について

○授業クラスの中で課題に困っている生徒の対応や児童生徒の課題にあっていない学習班の体制にきちんと対応してほしい。

→授業での学習の課題に困っている生徒がいないかどうかしっかり授業内の先生同士で見守り、指導に努めていきたい。また、児童生徒の適性や課題をしっかりと把握し、学習班の編成を行っていけるように努めていきます。

○体調不良の児童生徒がお迎え連絡がなく、他の児童生徒と一緒に教室にいたり、バスに乗って他の児童生徒と一緒に帰ってきたなどの話を聞き、保健室等で離れて過ごすなどの対応ができないか。

→バスの乗車に関しては、発熱37.5度以上であると乗車できないという基準に則って行っています。発熱がない場合でも、その時の児童生徒の体調に応じて対応させていただいています。また、保健室等で離れて過ごすなどの対応も行い、ご家庭への連絡等をさせていただいています。

アンケートの結果を全職員で確認し、各関部署で検討を行い、課題解決に向けて取り組んでまいります。